

畠山浩史写真展

日々刻まれるものの語り ハレとケの景色

2016.11.14(月)～12.7(水)
9:00～21:00 山鹿市民交流センター

畠山 浩史 略歴

1962年博多生れ。

多摩美術大学建築学科卒業後、古本屋で偶然見つけた

奈良原一高の写真集「消滅した時間」に触発され、写真を撮り始める。

翌年、約一年かけてオーストラリアを旅する。

その後、仕事の傍ら日本各地を巡る。

1994年と1998年、約一年半をニュージーランドで過ごす。

2009年春、父の実家が残る熊本植木に移り住む。

1996 初写真展「Kia Ora!」を京都で開催

以降、関西と熊本で計30回以上の写真展を開催

2015.03 「はるかなるものの語り」(熊本山鹿・天聴の蔵)

2011年3月11日の福島第一原発事故をきっかけに、新天地を求めて九州へ移住して来た人たちのものの語り。

2015.07 「緑の宇宙」(熊本市内・橙書店) 父方の叔母、岡田八重が遺した俳句集との映像コラボ

2014.03～ 熊本・山鹿、豊前街道沿いにある創業140年の酒蔵を改装した

Metro Cafe内にて、私の父が遺した蔵書と息子の私の本500冊以上を納めた

「いわしの文庫」を発足。店内のからすの文庫2000冊の絵本と共に貸出しを行っている。



(菊池道にて)